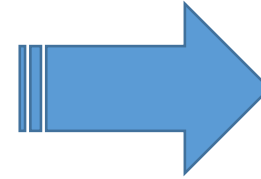


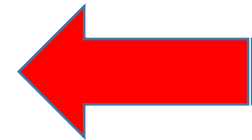
横浜市立大学附属市民総合医療センター PDCAサイクルによる取組体制

課題	具体的取組項目	主担当部署
I 診療機能の向上	1. 集学的治療の推進、 拠点としての医療提供	① キャンサーボードの開催 → がん包括センター担当
		② 高度な医療の提供(他病院からの紹介患者受入れ等) → 各診療科
		③ 化学療法・放射線療法等 → がん化学療法委員会
		④ 医療機器の計画的導入 → 経営企画課
	2. 在宅医療の支援	⑤ 地域連携クリティカルパスの活用促進(参画病院数拡充等) → がん包括センター担当
		⑥ 療養先の選択など支援 → がん包括センター担当
	3. 緩和ケアの推進	⑦ 緩和ケア外来や緩和ケアチームのラウンド、定期的なカンファレンス開催 緩和ケア研修会の開催、認定資格(がん化学療法認定看護師等)取得の促進などによる緩和ケアの質向上に向けての取組み → 緩和ケアチーム
II 診療実績の確保	4. 地域連携の推進	⑧ 病病(病診)連携の充実 → 地域連携担当
		⑨ 患者会のサポート等 → がん包括センター担当
	III がん医療情報の発信	⑨ がん相談支援センター運営(医療相談、就労支援、アピアランスケア等) → がん包括センター担当
5. がん医療情報の発信		⑩ がん看護外来、リンパ浮腫外来 → 看護部
		⑪ がん登録情報の管理・活用(院外広報等) → 診療支援担当
IV QOLの把握・評価	6. QOLの把握・評価	⑫ カンファレンス・研修の実施 → 緩和ケアチーム

■ 主担当部署が取組目標・指標を設定し実行(Plan & Do)、実績を自己評価(Check)



■ 委員会において、主担当部署の取組目標・指標の設定、自己評価の妥当性を検証(Check)し、改善を提案(Action)



院内委員会組織



がん包括センター運営委員会